

「議員旅費の見直し」など6項目を新議長に申し入れ

県民の声に  
こたえ

# 議会改革を



2011年5月29日  
- 2号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
県議会共産党執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 100万円以内の海外視察廃止を

改選後初の県議会臨時会  
が18日開会しました。

本会議で議長・副議長の選  
挙が行われ、議長には平弘  
造氏(長井市区)、副議長に



平議長(左)に申し入れるゆり子県議(右)  
=18日、議長室

は坂本貴美雄氏(新庄市区)  
を選出しました。どちらも  
自民党派です。

私は早速、平議長に対し、  
6項目に渡る「議会改革に  
関する申し入れ」を行いま  
した。

内容は、4年間に100  
万円を限度とした海外視  
察は廃止すること、議員  
旅費(費用弁償を含む)の見  
直しを行うことをはじめと  
して、少数派の意見を反  
映した議会運営や質問機  
会の保障を求めています。

平議長は、「対応できるも  
の、できないもの、検討を  
要する課題があると思いま  
す。いずれにしても経過や

## 議会の所属委員会決まる

23日、本会議で各委員会の選任が行われ、私渡辺ゆり子は、  
次の2つの委員会に所属することが決まりました。

商工観光常任委員会

少子・高齢化対策特別委員会

また、東日本大震災対策特別委員会(議長・副議長を除く全  
員による)が設置されることになりました。

結果について説明責任を果  
たしていきたいと思ってい  
ます」と答えました。

\* 必要に応じた海外視察  
は、政務調査費で可能で  
す。それと別枠で、1期  
4年間に一度100万円  
以内の海外視察は廃止す  
べきと考えます。

## 東日本大震災関連 の補正予算

臨時会では、東日本大震  
災関連で4月に知事の専決  
処分による総額約79  
億円の補正予算と、  
主に国の1次補正に  
対応した新たな44億  
9500万円の5月  
補正予算の議案など  
が提案されました。

5月補正の内容は、  
中小企業に対する金  
融支援25億円、被災  
者の雇用促進・就学支  
援14億5100万円、  
その他被災者・避難者  
の支援、放射線の測  
定に関するものなど  
となっています。

## 被災地に行く

ゆり子  
の視点

21日、東日本  
大震災の被災地  
である宮城県仙  
台市や石巻市に  
行ってきました。

被災規模の  
甚大さ実感

仙台港周辺で  
は、物流関係の  
多くの企業が被  
災し、自動車廃  
棄物集積所には

ひどいつぶれ方をしたり、  
焼けてしまっている車が  
積み上げられていました。  
石巻では、製紙会社の  
汚れた巨大な紙ロールが  
いくつも転がっていたり、  
飼料や合板の工場、その



津波による浸水で一面ガレキの市街地  
=21日、石巻市にて



被災者の方から要望を聞くゆり子県議(右)  
=21日、石巻市

れ、日常の営  
みが断絶して  
しまう被災規  
模の大きさと  
深さを胸に刻  
みつけました。

被災者の声  
を聞く

石巻では、  
被災者の方か  
ら話を聞くこ  
とができまし  
た。

外出先で地  
震に遭い、車  
で量販店の駐

他多くの企業が被災して  
いるのを目の当たりにし  
てきました。  
田んぼや畑だったであ  
る場所には、津波のた  
めガレキが散乱したまま  
放置されていたり、住宅  
地でも危険な建物やガレ  
キも手がつけられ  
ない様子が見てと  
れました。

ガレキの撤去や  
片付けの作業をし  
ている人がいまし  
たが、街全体がほ  
こりっぽく、防じ  
んマスクが必需品  
です。港では、ひ  
とりのお坊さんが  
座り、海に向かっ  
てお経をあげてい  
ました。

多くの命が失わ  
れました。  
山形でも震災  
の影響が広範囲  
に出ています。が、  
被災地のみならず  
、生  
活再建・地域再建の支援活  
動と福祉・防災のまちづく  
りを一体に、議会内外の  
活動に取り組み続けなけ  
ればと気持ちを新たにし  
ました。